

## 愛知県環境審議会総合政策部会 会議録

### 1 日時

令和3年1月21日（木）午後2時～午後2時45分

### 2 場所

愛知県庁本庁舎6階 正庁

### 3 出席者

委員7名、専門委員4名、説明のために出席した職員10名

### 4 傍聴人

なし

### 5 会議録の署名

会議録の署名について、榊原部会長が大石委員と渡部委員を指名した。

### 6 議事

#### (1) 部会長代理の指名について

榊原部会長が永瀬委員を部会長代理に指名した。

#### (2) 愛知県環境基本計画の改定について

資料1から5について、事務局から説明を受けた。

#### 【質疑応答・要旨】

(浅川委員)

資料3のパブリックコメントの対応案は、どういう取り扱いになるのか。

(事務局)

第5次愛知県環境基本計画の策定・公表にあわせて、パブリックコメントの結果も、Web ページで公表する予定にしている。

(浅川委員)

資料3の18番の県民意見は、自動車の交通量の抑制や都市部での車の減少等により、車からの総排出量を減らすことを求めており、それに対してあまり回答してい

ない気がする。

(事務局)

資料4の部会報告案34ページの(2)環境負荷の小さい交通・運輸への転換促進に、「自動車と公共交通のバランスがとれた、環境負荷の小さい交通・運輸への転換を促進していきます」、「交通流対策を推進するとともに、地域特性を踏まえつつ、歩いて暮らせる集約型のまちづくりを進めていきます」と記載しており、こうした取組により車からの総排出量の減少を進めることとしているが、対応案では「環境負荷の小さい交通・運輸への転換を進めてまいります」との記載にとどまっているため、対応案の記載内容について検討させていただく。

(浅川委員)

自動車からの総排出量を減らすという方向性を出した方が良いのではないかと、という県民意見と思われる。そのため、どのように総排出量削減に取り組むのか、といった方向性を示した方が良いと感じた。

(事務局)

承知した。対応案の記載内容を修正する。

(夏原委員)

資料3の6番の県民意見に基づき追加された、資料4の部会報告案13ページのグラフ【本県の土地利用状況】では、メガソーラーで山林が開発されたり生きものが影響を受けていたりする旨が読み取れない。例えば、メガソーラーの増減や愛知県内の都市計画区域の増減を示してはどうか。

(事務局)

太陽光発電による緑地の減少の具体的なデータは示すことが難しい。そのため、緑地の減少を示すグラフとして、本県の土地利用の状況を示すこととした。

(夏原委員)

グラフでは、森林が42.6%から42.2%に確かに減っているが、誤差の範囲ではないかと思われてしまわないか気がかりである。

(榊原部会長)

適当なデータがあれば載せるということで、検討をお願いします。

(事務局)

承知した。

(松尾委員)

資料4の部会報告案7ページの赤字で追加されたところで、「洋上風力、水素」の後に「自動車」とあるが、「次世代自動車」とした方が良いのでは。

(事務局)

国の戦略の記述を確認したい。

(榊原部会長)

確認の上、必要であれば修正をお願いする。

(山澤委員)

資料3の対応案の12番に、「国の動向に応じて、本県の目標値についても見直しを検討します」とあるが、「あいち地球温暖化防止戦略2030」の目標値について、見直す可能性があるということで良いか。また、見直しを行うとすると、どういった時点で、どういった形で進めることになるのか。

(事務局)

国は、今年11月のCOP開催までには2030年度の目標を見直し、その目標をもとに地球温暖化対策計画の見直しを思うので、その動向を踏まえて「あいち地球温暖化防止戦略2030」の見直しについても検討を進めていきたい。

(山澤委員)

計画期間の途中で「あいち地球温暖化防止戦略2030」の内容が変わる可能性があるかと理解して良いか。

(事務局)

「あいち地球温暖化防止戦略2030」には、状況に応じて見直しを行う旨の記載があり、目標も含めて見直しを検討していく。

(山澤委員)

承知した。地球温暖化防止戦略2030と、この環境基本計画が、具体的な目標値が違うという形にはなっていないということか。見直す予定であるけれども、その目標値については、現時点では、この環境基本計画には記載されていないということが良いか。

(事務局)

そのとおりである。

(山澤委員)

書きにくいとは思いますが、もう少し書き込めるといいのではないかなと思う。

(榊原部会長)

ご意見をいただいたので、検討をお願いします。

(大石委員)

見出しや図において個々のSDGsマークが掲げられている。非常にいいアイデアだと思うが、見ても内容が分からない人もいると思うので、最初にこのマークをこれから積極的に使っていきますよ、というような表現や、一個一個のマークのことが分かるような記述が必要と思う。

(事務局)

確かにSDGsの認知度は、まだまだという部分もある。環境基本計画については、策定後に県民向けの冊子を作成する予定にしているため、そうした冊子については、SDGsのことが分かるような視点で作成していきたいと思う。

(榊原部会長)

よろしくをお願いします。

(浅川委員)

資料4の部会報告案21、22ページに、土壌汚染と地盤沈下について加えていただいたが、地盤沈下について、2019年は1cm以上の地盤沈下域が出てしまったので、「概ね沈静化の傾向にあります」という記載が分かりにくい気がする。過去のデータを記載するなど、ここのところを少し工夫すると、違和感なく受け取れるかと思う。

(事務局)

確かに昨年度、江南市で1cm以上の沈下域が約3km<sup>2</sup>観測された。久しぶりという状況であるので、沈静化している旨がしっかりと分かるような記述にしたい。

(榊原部会長)

それでは、基本的なところで大きな修正があるということではないと思うが、いくつかご意見をいただいたので、事務局で検討・修正を行い、私の方で確認後、部会報告とすることで良いか。

(各委員)

異議なし

(榊原部会長)

ご了解いただいたので、意見を踏まえて修正したものを部会報告として、2月に開催予定の環境審議会で報告をさせていただきます。

以上

愛知県環境審議会委員 大石 弥幸

愛知県環境審議会委員 渡部 美由紀